



FEE（国際環境教育基金）

Foundation for Environmental Education

本部をデンマークにおく、非営利・非政府組織。各国に通常一つずつ会員組織を持つ統括組織（1 カ国 1 団体）であり、日本では FEE Japan（東京都千代田区）が運営を行なっている。

環境教育を通して持続可能な開発を促進することを目標とし、5つのプログラムを通じて、持続可能な発展のための環境教育を行う。

2014 年現在、68 の国と地域においてと運営を行なっている。

FEE Japan

2007 年 6 月より、日本において FEE の活動を統括する団体として認証を受ける

FEE Japan における実施プログラム

- ・ エコスクール（学校の認証プログラム）
- ・ グリーンキー（宿泊施設の認証プログラム）
- ・ LEAF (Learning About Forests)（森林環境学習プログラム）
- ・ ブルーフラッグ（ビーチ・マリーナの環境認証プログラム）

代表理事 伊藤 正侑子 他スタッフ 4 名

特定非営利活動法人 FEE Japan

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-14-38-312

TEL 03-5212-1528 FAX 03-5212-1533

<http://www.feejapan.org>



ビーチ・マリーナの環境認証

BLUE FLAG
ブルーフラッグ

ブルーフラッグプログラムは
ビーチやマリーナでの
持続可能な発展を
目指しています



ブルーフラッグとは

ブルーフラッグは、世界 49 の国の 4,271 箇所で取得されているビーチやマリーナ、観光用ボートを対象とした環境認証です。ブルーフラッグ認証では、水質、環境教育と情報、環境管理、安全そしてその他のサービスに関する厳しい基準を通じて、ビーチやマリーナにおける持続可能な発展の実現を目指しています。

ブルーフラッグのコンセプトは、1985 年にフランスで誕生しました。1987 年にブルーフラッグのコンセプトが紹介されたのを機に、ヨーロッパ各地においてブルーフラッグプログラムが開始しました。

現在 FEE では UNEP（国連環境計画）、UNWTO（国連世界観光機関）等との連携のもと、世界各国においてブルーフラッグプログラムを推進しています。

ブルーフラッグのビジョン

ブルーフラッグ・プログラムは、「環境教育と情報提供」、「水質」、「環境マネジメント」、「安全性とサービス」についての厳しい基準を通して、ビーチやマリーナでの持続可能な発展を目指しています。

ブルーフラッグのミッション

- ・ビーチとマリーナ利用者への「環境プログラム」の推進
- ・所有者およびステークホルダーへの「環境マネジメントシステム」と「安全とサービス」の理解と実現
- ・ビーチを利用する人々の活動による自然環境への影響を最小限にするため、その状況を監視し情報提供を行う
- ・ビーチを取り巻く沿岸環境についての理解を深めること
- ・持続可能な観光開発への働きかけ
- ・地元当局やステークホルダーの意思決定プロセスに環境問題対応の視点を組み込むように促進すること。

ブルーフラッグビーチでは

以下の全てに対して国際的な基準を満たしています。



水質

測定値、測定回数、排水と影響など



環境教育と情報

情報の揭示、環境教育の実施など



環境マネジメント

清掃管理、生態系保護など



安全性・サービス

安全対策、障がい者向け設備など

取得の流れ

ブルーフラッグを取得するためには地元自治体やビーチ、マリーナの管理・運営者等が中心となり、主に 4 つのカテゴリー（水質、環境教育と情報、環境管理、安全）において設定された 33 の基準を達成することが求められます。

step1

地元関係団体と調整の上、国内運営組織に申請

step2

国内審査委員会による審査

各分野の専門家により構成される国内審査委員会において審査を実施

step3

国際審査委員会による審査

国内審査委員会の推薦を経て、国際審査委員会で最終決定される

step4

ブルーフラッグ認証取得／1 年ごとに更新

国内運営組織により定期的な検査を行い、基準を満たしていないビーチは認証を取り消される